2024 年 12 月 13 日
西日本旅客鉄道株式会社

25 年春、特急「まほろば」の定期運行化と、リニューアルデビューが決定！

大阪・新大阪～奈良間を土休日に臨時列車として運行している特急「まほろば」が 2025 年 3 月 15 日から定期運行を開始します。また、同年 4 月には、車両の内外装に奈良の魅力を表現したリニューアル車両がデビューします。ぜひこの機会に、生まれ変わった特急「まほろば」で奈良への旅をお楽しみください。なお、同年秋ごろには装いの異なるリニューアル車両を追加で投入する予定です。

1．定期運行について

・運行日：2025 年 3 月 15 日以降の土休日

・運行区間・時刻

大阪⇒奈良方面

大阪発	新大阪発	法隆寺着	奈良着
9:58	10:04	10:48	10:57

奈良⇒大阪方面

奈良発	法隆寺発	新大阪着	大阪着
16:21	16:30	17:10	17:15

・編成：３両編成（全席普通車指定席）

２．リニューアルについて

2025 年 4 月 5 日に第 1 編成、同年秋ごろに第 2 編成（計 2 編成）のリニューアル車両を投入します。

【リニューアルコンセプト】

古事記に「国のまほろば（素晴らしいところ）」と謳われ、古くから大陸の異文化をとりいれながら、多様性を受容してきた奈良は、今なお、その面影をとどめています。この世が、安寧の楽園となることを想い、その文化を万世（万葉）へと守り続けてきた悠久の時間。奈良を体現する 2 つの魅力「安寧」と「悠久」を新生特急「まほろば」に込めました。

（1）第 1 編成「安寧」（あんねい）

・運行開始時期：2025 年 4 月 5 日

・エクステリアデザイン

・インテリアデザイン

（2）第 2 編成「悠久」（ゆうきゅう）

・運行開始時期：2025 年秋ごろ予定

・エクステリアデザイン

・インテリアデザイン

（3）ロゴマーク

唐草文様をモチーフとして、鹿や金魚、大和野菜など奈良らしい要素を組み込んだデザインにしています。

（4）リニューアル車両のその他の特徴

・車内 Wi-Fi、全席コンセント、荷物スペースの設置

・車椅子スペースの拡大

3. デザイン監修・協力

・監修：株式会社 GK デザイン総研広島

・協力：なら歴史芸術文化村（奈良県知事公室万博推進室兼務）　松本耕士氏

4．その他

・運用上の都合で、やむを得ずリニューアルしていない車両で運行する場合があります。

・特急「まほろば」リニューアル専用 HP を公開しています。ぜひご覧ください。

https://www.jr-odekake.net/railroad/mahorobalimitedexpress/

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 11 番、17 番に貢献するものと考えています。

別 紙　各編成のコンセプト等

第１編成「安寧」（あんねい）

・運行開始時期：2025 年 4 月 5 日

・車両デザイン

［エクステリア］

あふれる生命観や豊穣をあらわした金色と、奈良時代に大陸から伝わった染料に由来し、当時の宝物にも多く見られる蘇芳色（すおういろ）の車体カラー。蘇芳色から金色のグラデーションで、万物の安寧をあまねく照らす「楽園の陽光感」を車体に表現しています。

［インテリア］

あたたかみのある蘇芳色のシートに、奈良時代・平安時代に装飾として多く用いられた、空想上の花をかたどった宝相華文様（ほうそうげもんよう）をあしらいました。安寧に包まれたまほろばに思いを馳せる、旅の空間を演出します。

第２編成「悠久」（ゆうきゅう）

・運行開始時期：2025 年秋ごろ予定

・車両デザイン

［エクステリア］

時の積み重ねにより、深みを帯びた仏像の経年変化を思わせる墨色と灰渋色（はいしぶいろ）の車体カラー。墨色から灰渋色のグラデーションで、「文化の万世（万葉）への継承」を車体に表現しています。

［インテリア］

落ち着いた墨色のシートに、奈良時代・平安時代に装飾として多く用いられた、空想上の花をかたどった宝相華文様をあしらいました。悠久に包まれた古の奈良に思いを馳せる、旅の空間を演出します。